

銘柄分析レポート：我が国における成長産業

1 はじめに

皆さんの地元で近年、新しくオープンした施設はどのようなものでしょうか？

道に行く人も年配者ばかりと、目に見えて少子高齢化の進展している私の街では近年、新しくオープンしたのは病院と介護施設です。

わざわざ箱モノを建てるのは、相応のニーズが見込まれており、投資が回収できるからに違いありません。

つい最近も近場の有料老人ホームが増築を行っており、いったい何ができるのだろうかと観察していたら、看多機（かんたき）と呼ばれている看護小規模多機能型居宅介護施設でした。

悲しいかな、我が国では医療と介護が成長産業なのです。とりわけ医療においては、国策の後押しで訪問看護に力が入れられています。

長期投資家としては、この現実についていくべきでしょう。

市場規模が拡大する業界でシェアを伸ばせる会社を持ち続けることができれば、複利のリターンを期待できます。ひょっとすると次の10倍株は、こういったところから誕生するかもしれないのです。

だからといって、医療と介護であれば何でもOKという考え方は短絡的です。個人的には下記の条件5つを満たしている会社に投資したいと考えています。

- (1) 業界内でのシェアが高い
- (2) 価格決定権を持っている
- (3) ストック型ビジネスである
- (4) 大がかりな設備投資が不要で、少ない資本で運営できる
- (5) 多くの人手を必要としない

「そんなうまい話があるのか。医療も介護も報酬は公定ではないか。そのうえ労働集約的だし、介護施設は典型的な箱モノだ」と思われるかもしれませんが。

ところがあるのです。今回の銘柄分析レポートでは、医療と介護に関連するビジネスを行っている会社を取り上げます。